

プロ卓球選手の技を学ぶ

郡山北斗選手講習会

2月4日、長船スポーツ公園体育館でプロ卓球選手こおりやまほくとの郡山北斗選手の講習会が開催され、瀬戸内市、備前市、岡山市、新見市と島根県のスポーツ少年団などから120人が参加しました。

郡山選手は、地元瀬戸内市のスポーツ少年団出身の選手で、小さい頃から全国大会で活躍し、全日本ベスト16位、世界ランキングに入る成績を収めています。現在は、リコーに所属し、プロリーグでは、木下マイスター東京に所属しています。

基本的な練習から応用練習、自身が行っている試合前のストレッチまで、多くの参加者にアドバイスをしました。

講習会の最後には、郡山選手との1セットマッチがあり、スポーツ少年団の数人が挑戦し、実際にプロの技を受け、一流の卓球技術を学びました。



郡山選手に挑戦!



いつまでもお元気で

100歳を迎えた高齢者をお祝い

2月1日に満100歳を迎えた木村茂子さん（邑久町大窪）のお祝いに、武久市長らが入居している施設を訪問しました。木村さんは家族とともにお祝い状を受け取りました。

洋裁の学校に通っていた木村さんは裁縫が得意で、その腕を生かし、家族の服は手作りしていました。孫が生まれてからも、世話の合間に公民館活動の傘踊り、銭太鼓、ゲートボールを楽しみました。現在は入居している施設で楽しく過ごしています。長寿の秘訣は「できることは自分でやること」。



ご家族、武久市長とともに記念撮影をする木村さん（写真中央）

木村さん、これからもますますお元気で過ごしてください。

女子野球タウン協定を締結

調印式、野球教室を行いました

市は、令和5年10月に一般社団法人全日本女子野球連盟（以下、連盟）から岡山県初となる「女子野球タウン」として認定されました。この度、連盟と女子野球タウン協定を締結し、3月23日に備前長船刀剣博物館で調印式を執り行いました。

この協定は、市と連盟が協力し、女子野球による地域活性化の実現に向けた取り組みを進めるためのもので、武久顕也市長と連盟の山田博子代表理事が協定書に署名しました。

調印式で市長は「これまで民間の有志の皆さんと取り組んできたことが一つの形になり大変嬉しく思う。女子野球タウンが女性の活躍や多様性の促進、市民一人一人の幸福の実現に向けた取り組みの土台となるよう力を入れていきたい」と述べ、山田博子代表理事は「瀬戸内市は、野球に携わる人々に対し行政がバックアップしていて、官民のバランスがよくチームワークが素敵だと思う。調印式を迎えることができ本当に嬉しく思う。瀬戸内市では女子野球タウンを活用した色々なことができると思うので今後に期待している」と述べました。

今後は、女子野球を通じてまちの魅力・地域資源などを広く市内外にPRするとともに、本市を拠点に活動する女子硬式野球チーム「瀬戸内ブルーシャインズ」と協力して、スポーツ分野に限らず、市内のさまざまな団体と連携しながら取り組みを実施していきます。

翌日3月24日には、女子野球タウン認定を記念し、侍ジャパン女子代表に選出されている選手3人と女子硬式野球チーム「瀬戸内ブルーシャインズ」による、地域の学童軟式野球チームを対象とした野球教室を開催しました。雨天のため、瀬戸内市立牛窓中学校体育館での実技指導となりましたが、子どもたちは楽しそうに守備、打撃、基礎トレーニングの指導を受けていました。



協定書を交わした武久市長（左）と山田代表理事（右）



野球教室の様子

